

提 言 書

— 令和5年度議会報告会を終えて —

栗山町議会

はじめに

栗山町議会の議会報告会（以下「報告会」という。）は、平成17年3月に宮城県本吉町（当時）に続き全国2例目として開催して以来、今年で19年目を迎えた。

今年の報告会は、令和6年2月5日から2月16日までの日程で、町内12会場において開催した。

今年のテーマは、町民の生活に大きく影響のある町営バス路線の見直し、除排雪体制の見直し、ごみ焼却施設開始について、また、議会で特別委員会を設置し行政運営に関する調査を行った内容を報告し、意見交換を行った。報告会には159名の町民の参加があり、それぞれのテーマに対して、数多くの意見や要望が出された。

これらの意見や要望については、議会から行政に対して提言するもの、常任委員会における所管事務調査に反映するもの、議員個々に取り上げるものなどにそれぞれ分類した。

この提言書は、前述した議会内での討議を経てまとめたものであり、町民からの貴重な政策提案として、今後の行政運営の一助とされることを期待する。

令和6年3月29日

栗山町議会議長 鵜川和彦

1. 諸課題に対する提言・要望

□町営バスの運行について

(議会の見解・提言)

現在、町営バス見直し庁内検討委員会において検討がなされ、見直し案が出されているが、今後においては、特に高齢者のニーズを把握するとともに、運行時間、バス停の場所、運行路線について継続して検討されることを求める。

また、高齢化が今後進むことが想定されることから、町営バスの利用も困難になる高齢者も視野に入れながら、交通弱者に対する施策について検討願う。

(報告会おける町民からの発言)

- ・日出地区からのバスについて、栗山赤十字病院の受付時間に間に合う便を出して欲しい。
- ・角田市街地区、ふじ団地、スキップからしゃるるの間など、バス停がない場所について、町民の意見を取り入れながら停留所の移動、又は増設してほしい。
- ・交通弱者やスクールバスを利用できない学生達のためにも、町民の意見を取り入れながら夏ダイヤ、冬ダイヤを設定してはどうか。
- ・無人化バスの導入の検討してはどうか。
- ・デマンドバスについて、夕張市との連携はできないのか。
- ・相乗りデマンドタクシーを運行してほしい。

□除排雪について

(議会の見解・提言)

除排雪については、「除排雪事業あり方検討会議」が設立され、快適な生活環境に向け、さまざまな改善点が示されたが、自然条件に左右され一律に解決される課題ではない。

特に、通学路の歩道の除雪については、通学に支障が出ないような除雪を基本とされたい。

(報告会おける町民からの発言)

- ・家の前に雪の塊が出来るような除雪の方法等について、改善・工夫してほしい。
- ・高齢者が除雪機を持っている農家の方と個別契約できるように、斡旋や助成を検討してはどうか。

□栗山高等学校の存続に向けた支援について

(議会の見解・提言)

栗山高等学校等の存続・生徒確保に向けて、現在、高校の魅力化を図る一つの手法として女子硬式野球部の支援をしているが、町の支援策としては、栗山高等学校の魅力化向上のため今後においても十分に研究されることを求める。

(報告会おける町民からの発言)

- ・栗山高校の存続策として女子野球部の支援だけでなく、他の生徒に対しても支援してほしい。
- ・保護者としては近くの学校に通ってもらいたい思いはあるが、学校に魅力がない。
- ・大学への進学も検討できるように、進学コースを設置してほしい。
- ・生徒数を増やす施策として、由仁町からの進学や学校生活等に対する支援をしてはどうか。
- ・保護者の負担軽減のため、学校給食の導入をしてほしい。

栗山町議会